

# 北 どころ

第118号 2026年1月1日 (毎月1日発行)

## 中国5県絶景の旅⑧

### 「島根県松江市・一畑電車秋鹿町駅」

あいかまち

#### ——西条柿の古木と癒しの女神

木次線ストロールで幡屋駅を取材したあとで、松江市内を一泊。11月17日(月)の朝、徒歩で一畑電車「松江しんじ湖温泉駅」を目指した。私営の駐車場から意外と距離が長かったのと昨日の歩きのダメージが残っているので、思いの外、時間がかかってしまった。

駅の窓口で「一畑電車フリー乗車券」を購入。一日乗り放題で1800円。駅前のレンタル電動自転車「松江シェアサイクルラフチャリ」は株式会社ドコモ・バイクシェアの運営で、スマートフォンアプリで予約や利用ができるというのだが、アプリのインストールもやったことがないのでお手上げだ。「1日パス」は駅の売店で申込みができるというので、必要書類に記入してカードキ

イを得ることが出来た。料金は1500円。ちなみに基本料金は60分220円。

松江しんじ湖温泉駅は足湯が名物なのだが、週の始まりの平日ということもあって、利用している人はいなかった。カードキイをセンサーにかざして開錠、電動自転車を押して改札口を通過。ラフチャリがスタートしたのは一昨日で、他の利用者は見当たらない。

折り返しの電車が到着。ホームと扉との段差がないので、スムーズに乗り込みことができた。だが、自転車を保持したまま、どこで待機していいのかわからない。乗客がいないうりやがったので、



ホームから宍道湖の景色がよく見える



樹齢は約500年で、松江市の文化財に指定

自転車のスタンドを立てて、抱え込むようにして強引に坐った。しかし、電車がかなり揺れる。自転車を放してしまいそうで危ないので、立ち上がって吊革を握り、自転車を強く確保した。

最初に降車したのは秋鹿町駅、秋鹿を「あいか」と読む。駅の北方に秋鹿神社があり、祭神は「秋鹿日女命(あいかひめのみこと)」で、観光パンフには「大國主命が兄弟の八十神にだまされて大やけどを負った際に、秋鹿日女命が抱して生き返らせたという神話も伝えられています」。癒しの女神にふさわしい名前ではないか。

秋鹿町駅は宍道湖にいちばん近い駅。電車のレールと平行に走っているのが国道431号線で、そのすぐ向こうに宍道湖の水面が見える。昨日とは一転して曇天、風が強く波が高い。

駅の構外に出て、国道を出雲市方面に進んだ。電動なのでペダルが軽い。すぐにラーメンの看板を見つけて、昼食をすませることにした。半ラーメンスタミナ定食、1280円。ラーメンの選択は醤油味。

さらに国道を西に進むと道の駅「秋鹿なぎさ公園」がある。水辺に降りてみると広い砂浜があり、これはもう海岸の景色だ。こんなに広い宍道湖が、日本の湖では7番目の大きさ。お隣の中海が第5



発行：どら書房

誌面デザイン：ROUTE183  
協賛：九日市愛好会